



# 平成16年3月期 第3四半期業績

エーザイ株式会社

# 第3四半期連結業績

(億円、%)

	2003年10-12月			2003年4-12月			
	実績	売上比	前同比	実績	売上比	前同比	増減額
売上高	1,300	100.0	110	3,777	100.0	107	256
売上原価	259	19.9	98	735	19.5	93	58
研究開発費	171	13.2	116	506	13.4	119	80
販売管理費	621	47.8	113	1,878	49.7	112	196
営業利益	249	19.1	115	659	17.4	106	38
経常利益	250	19.3	115	657	17.4	106	39
当期純利益	155	11.9	120	403	10.7	115	52

# 所在地別売上高

(億円、%)

	2003年 10-12月(3カ月)		2003年 4-12月(9カ月通算)		
	実績	前同比	実績	構成比	前同比
日本	706	106	1,997	52.9	101
北米	475	113	1,443	38.2	114
欧州	94	138	265	7.0	127
アジア他	25	109	72	1.9	106
海外計	594	116	1,781	47.1	115
合計	1,300	110	3,777	100.0	107

外部顧客に対する売上高

9カ月通算の海外比率は前年同期の43.8%から47.1%に上昇

# 日本において市場を上回る成長

【2003年度第3四半期前年比】 (%)

	市場	エーザイ
2003年 10-12月	105	110
2003年 4-12月	104	107

注) コ・プロモーション品の売上高を含む  
出所) IMS

# 所在地別営業利益

(ロイヤルティ控除前)

(億円、%)

	2003年 10-12月(3カ月)		2003年 4-12月(9カ月通算)		
	実績	前同比	実績	構成比	前同比
日本	146	92	414	57.8	90
北米	82	146	254	35.4	148
欧州	18	270	34	4.8	139
アジア他	6	104	15	2.0	99
海外	106	155	302	42.2	144
小計	252	111	716	100.0	106
消去・全社	3		58		
合計	249	115	659		106

9カ月通算の海外比率は前年同期の31.3%から42.2%に上昇

# Eisai Inc. 損益実績

(百万ドル、%)

	2003年 10-12月(3カ月)		2003年 4-12月(9カ月通算)		
	実績	前同比	実績	売上比	前同比
売上高	440	127	1,267	100.0	121
アリセプト	187	108	546	43.1	123
アシフェックス	244	148	701	55.3	121
営業利益 (ロイヤルティ控除前)	73	155	214	16.9	150

2002年4-12月通算のロイヤルティ控除前営業利益率は13.6%

# アリセプト

科学的根拠に基づいた製品戦略  
- 効果、安全性および1日1回服用 -

## 'Delay to nursing home'

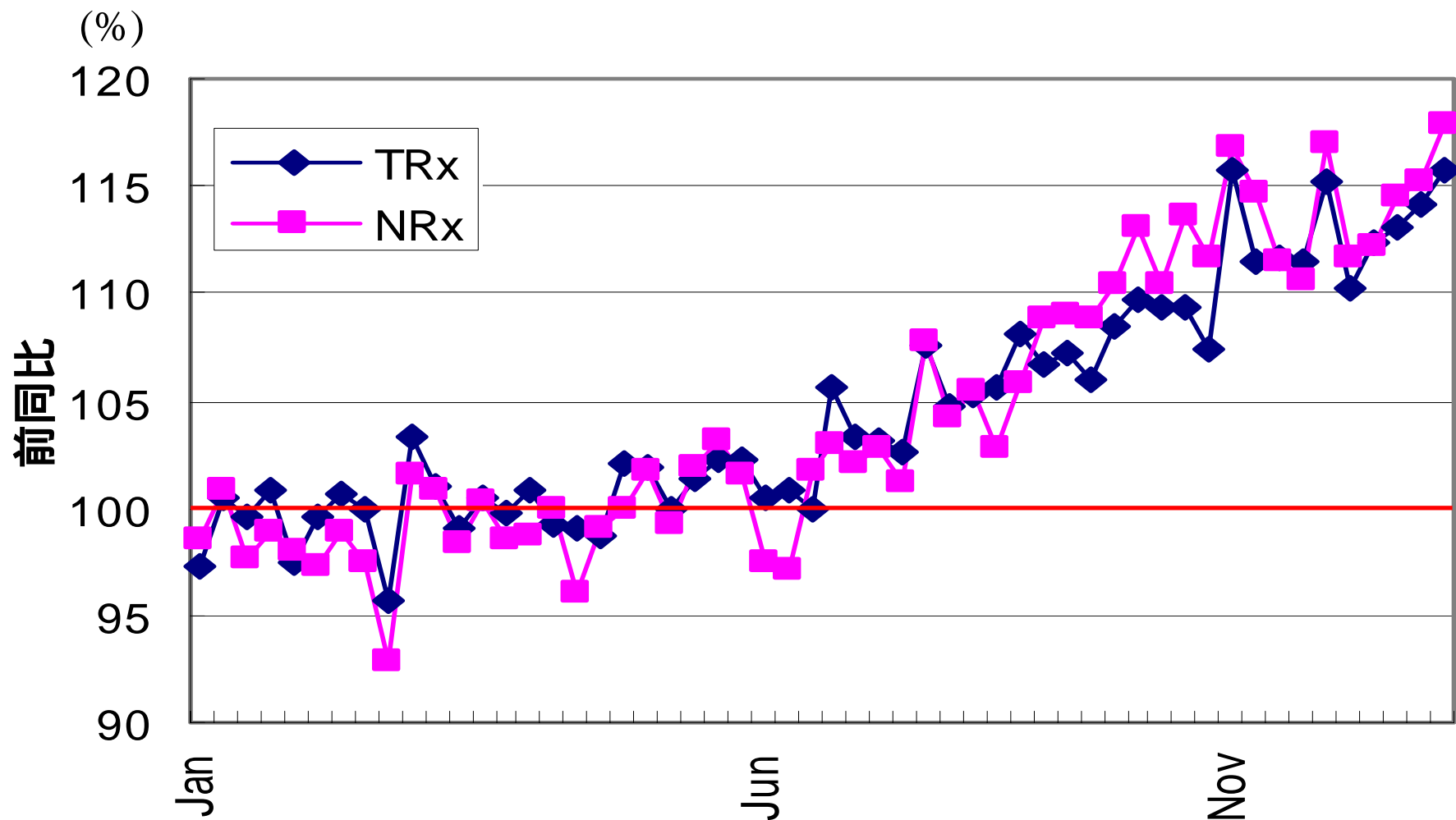
### < 米国 >

- 早期治療の促進
  - DTC (Direct to Consumer) 広告によるアルツハイマー病の認知度向上
- 領域トップのSOV (Share of Voice) 維持
- 質・量ともに領域最高のデータ
- ナーシングホームへの深耕

### < 日本 >

- 早期治療の促進
  - もの忘れ外来との連携
  - 地域医療連携 (病院とかかりつけ医間での診断と長期ケアの分担)
- 潜在市場の発掘
  - MRによる疾患啓発集会の開催
  - 疾患啓発広告の継続

# 米国アリセプトの週間処方推移



(出所: Verispanのデータに基づく社内分析)



# 日米欧で成長を継続するアリセプト

【アリセプト売上高】

(億円、%)

	日本	米国	欧州	アジア	合計
2002年 4-12月売上高 (9カ月通算)	170	547	127	17	861
2003年 4-12月売上高 (9カ月通算)	216	628	174	18	1,036
前年同期比	127	115	137	106	120

# パリエット / アシフェックス

**明確な優位性 = 'Fast & Consistent'**

「症状の改善が速く、かつ安定して効果を発揮する」

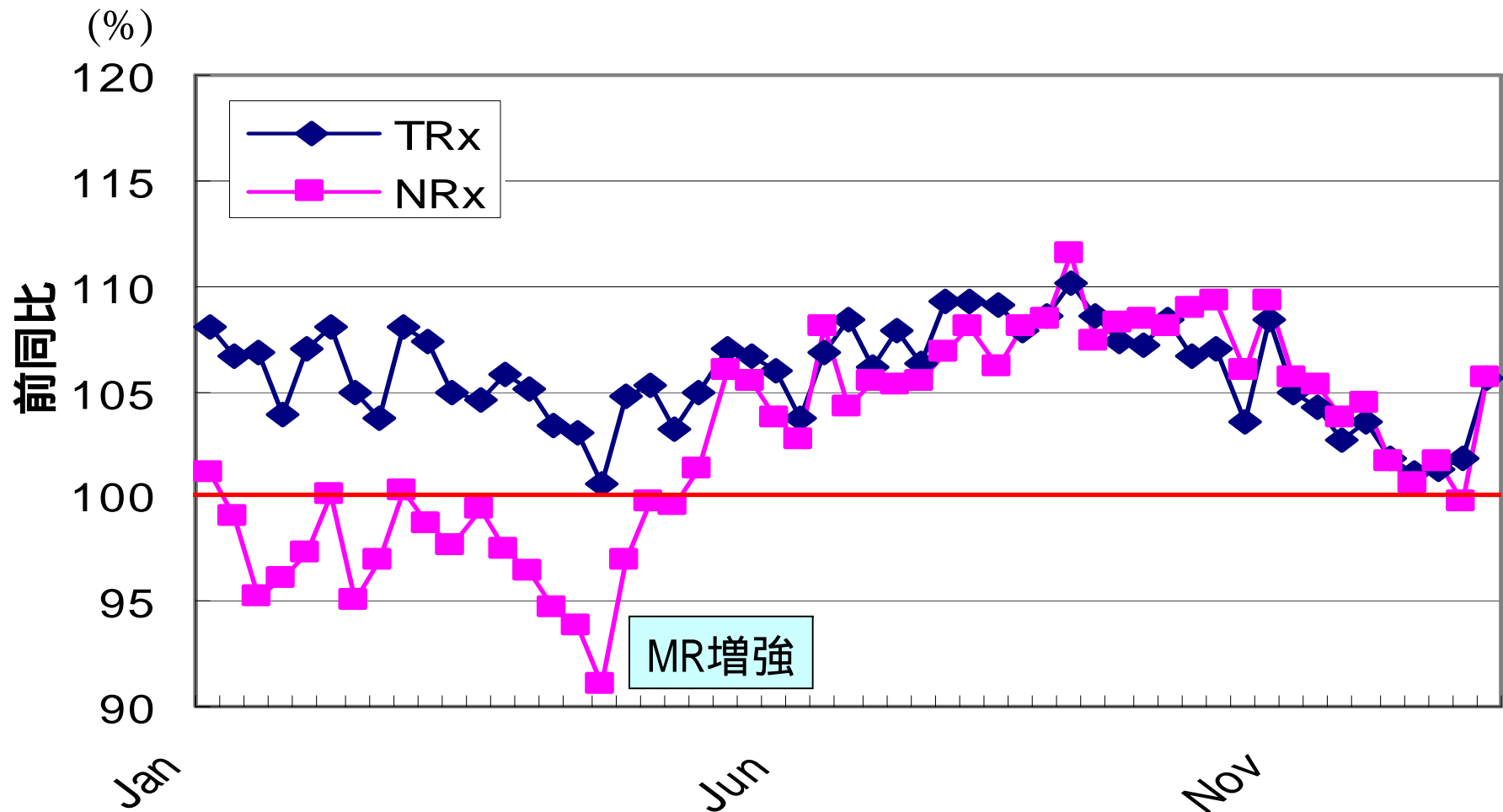
## < 米国 >

- マネジドケアの新規開拓
  - 患者様に対する最良のオプション(満足度・効きめなど)の提供
  - 新規口座獲得
  - フォーミュラリーのポジショニング改善
- MRの増員・SOVの上昇

## < 日本 >

- 逆流性食道炎維持療法への訴求
  - DVDによる動画を用いたディテール、全国各地での研究会
  - 患者様の満足度を向上させるツールの提供
  - H<sub>2</sub>RAからPPIへのチェンジセラピーの推進
- SOVの上昇

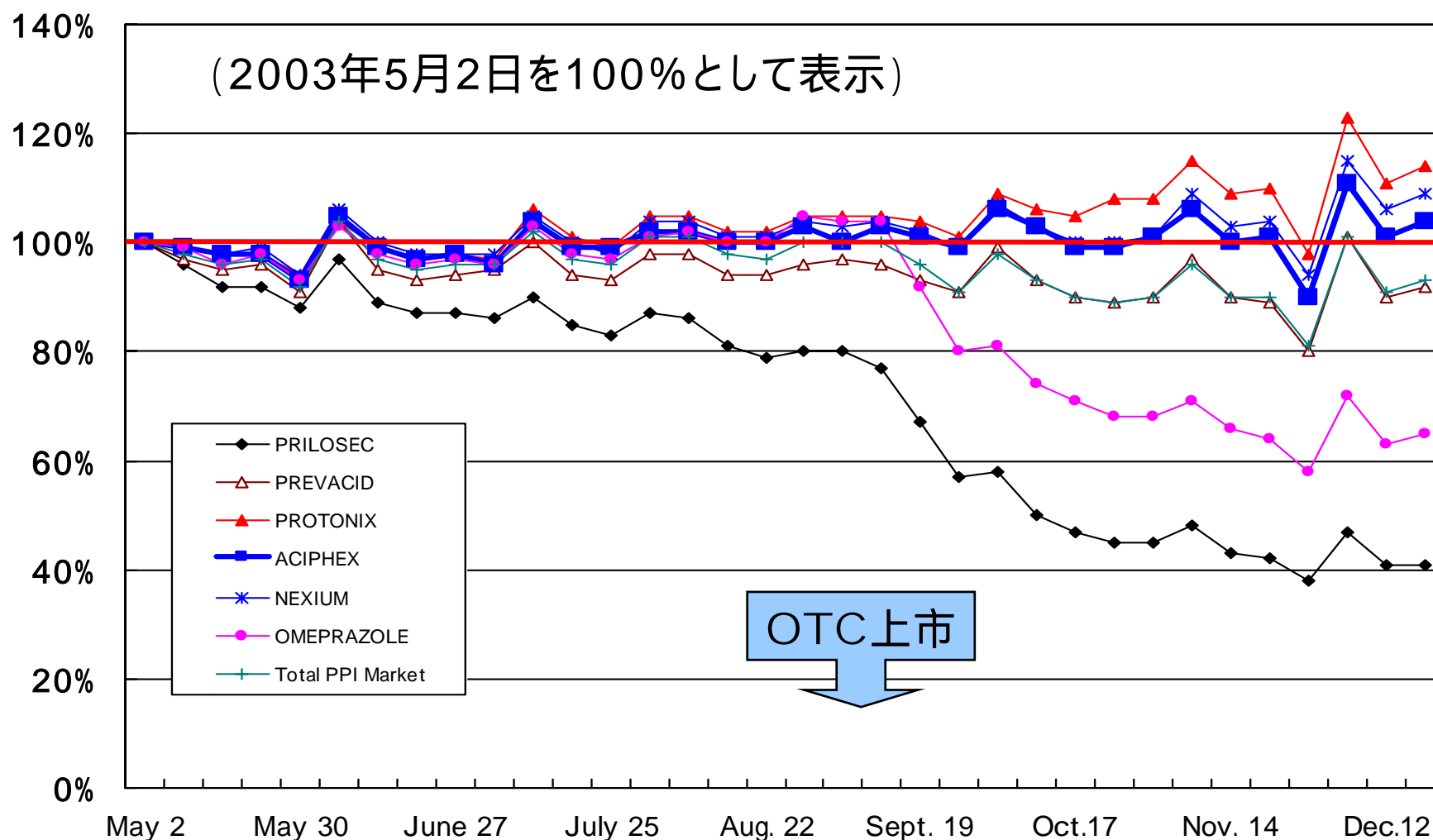
# 米国アシフェックスの週間処方推移



(出所: Verispanのデータに基づく社内分析)

# 米国PPI処方箋推移

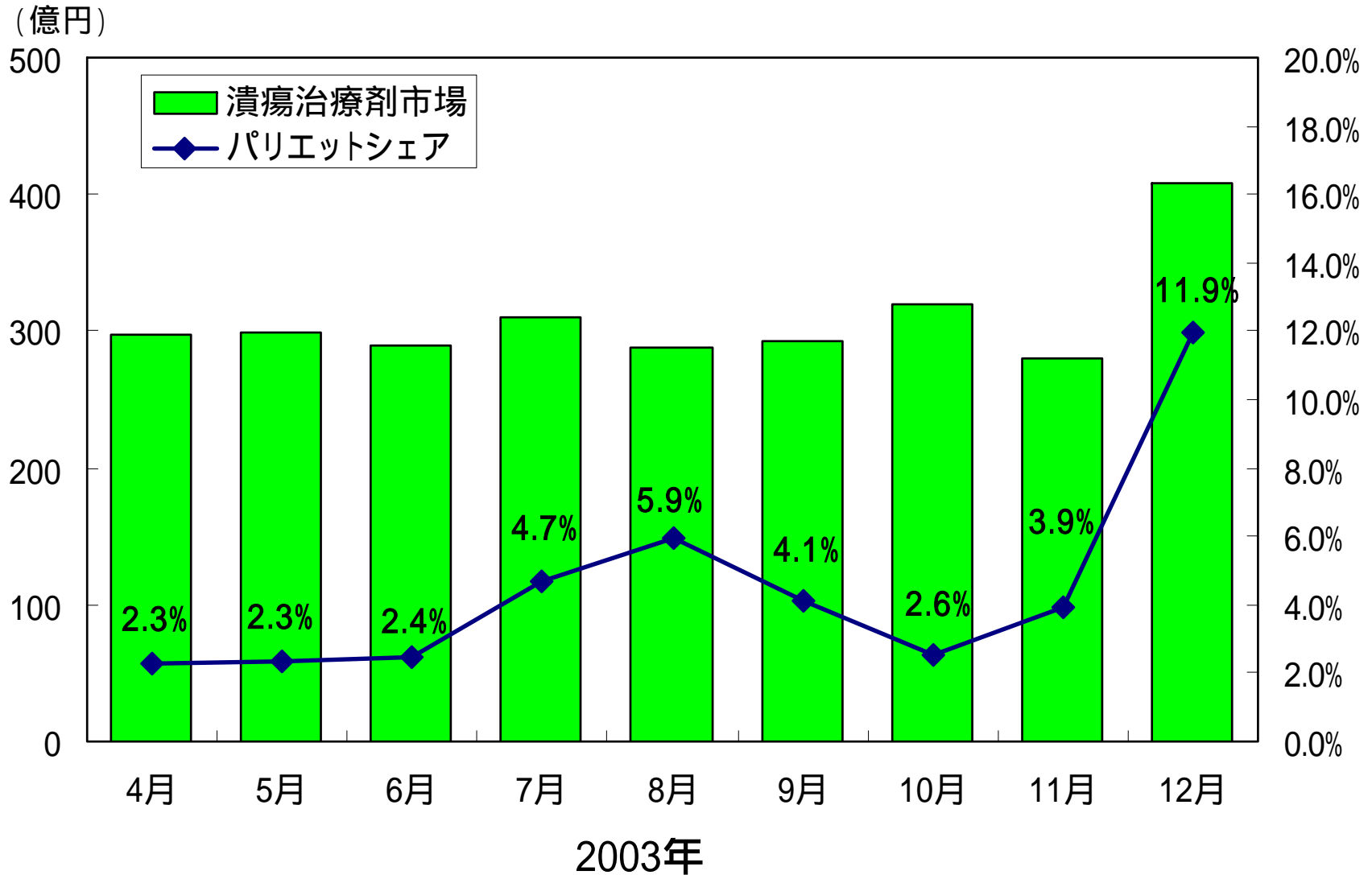
—アシフェックスはOTCの影響を受けていない—



(出所: Verispanのデータに基づく社内分析)

# 国内潰瘍治療剤市場内シェア

(2003年4月～12月 IMS)



# 日本でパリエットがさらに急進拡大

【パリエット / アシフェックス売上高】 (億円、%)

	日本	米国	欧州	アジア	合計
2002年 4 - 12月売上高 (9カ月通算)	46	711	49	10	816
2003年 4 - 12月売上高 (9カ月通算)	115	807	55	12	989
前年同期比	251	113	111	121	121

# アリセプト、パリエット / アシフェックス 売上高見通し

(億円、%)

	2003年 4 - 6月 (3カ月)	2003年 4 - 9月 (半期)	2003年 4 - 12月 (9カ月通算)	年度見通し
アリセプト	325	686	1,036	1,440
前年同期比	128	127	120	125
パリエット / アシフェックス	263	639	989	1,380
前年同期比	95	111	121	118

# 連結フリー・キャッシュ・フロー

(億円)

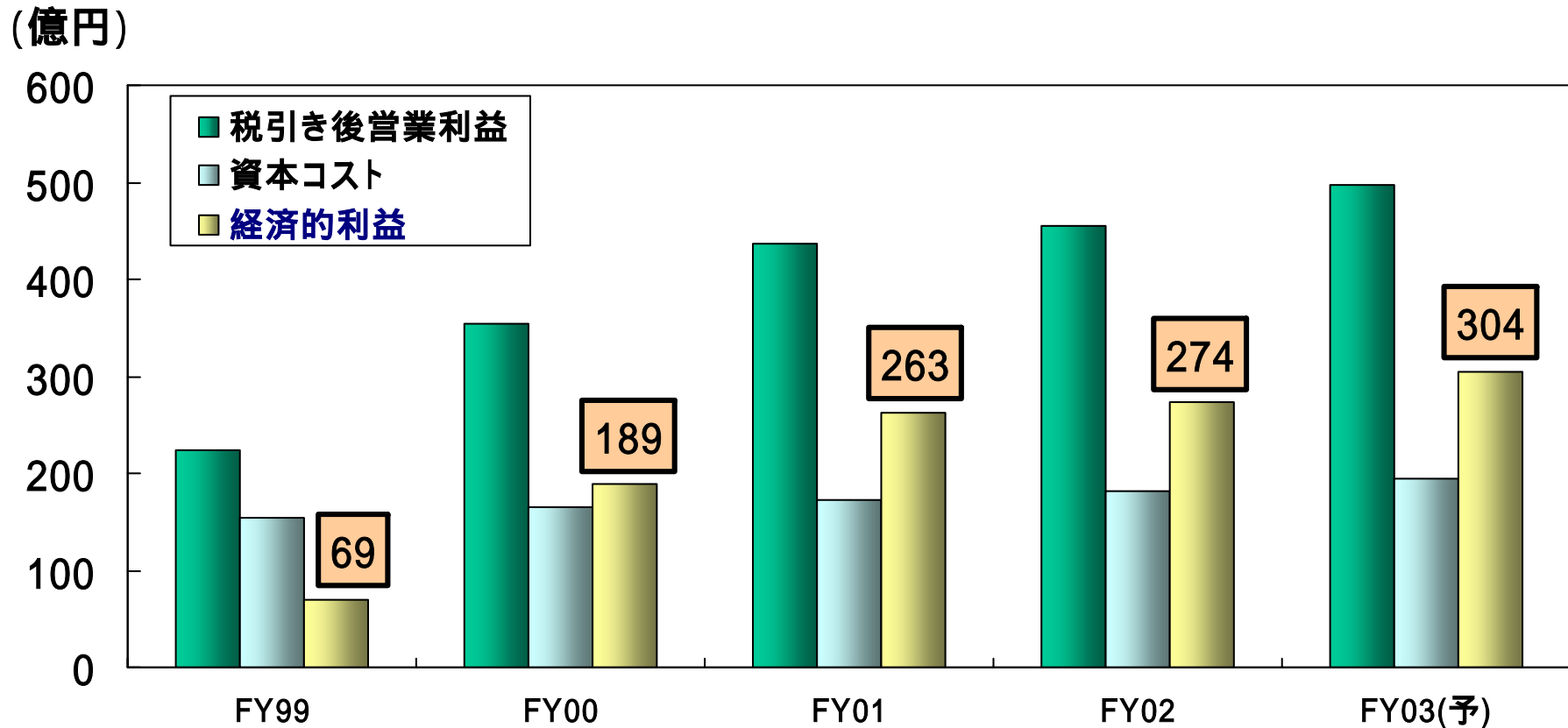
	営業キャッシュ・フロー		資本的支出等		フリー・ キャッシュ・フロー	
	実績	増減額	実績	増減額	実績	増減額
2002年 4-12月 (9カ月通算)	257	-	186	-	71	-
2003年 4-12月 (9カ月通算)	496	239	174	13	322	251

フリー・キャッシュ・フロー = (営業キャッシュ・フロー) - (資本的支出等)



# 資本効率の向上による株主価値の創造

## - Economic Profit (経済的利益) の試算 -



・ Economic Profit (経済的利益) は一般的前提に基づき暫定的な数値を、株主価値の創造を示す参考値として試算したものであり、会計上の利益とは異なります。

・ 計算の前提と会計上の数値との整合性;

経済的利益 = 税引き前営業利益 - 資本コスト

税引き後営業利益 = 営業利益 × (1 - 実効税率)

資本コスト = 使用資本 × 加重平均資本コスト率

使用資本 = 期初自己資本 (簡便法)

実効税率 = 40% (一般的仮定)

加重平均資本コスト率 = 5% (一般的仮定)

# 研究開発の進展

11月13日	オンコセラピー・サイエンスと、肺がんに関する遺伝子研究情報の利用許諾契約を締結 (診断薬の開発)
12月11日	「パリエット」の特発性酸分泌過剰(ZESを含む)の適応追加申請(欧州)
12月17日	「アリセプト」の口腔内崩壊錠と液剤を申請 (米国)
12月19日	「アリセプト」の口腔内崩壊錠を申請(欧州)

E2101(中枢系筋弛緩剤)の開発を中止

# グローバル開発品の進捗

テーマ名	概要	ステージ	申請予定
E5564 (注射)	エンドキシン拮抗剤 敗血症：今年度中に第2ステージから 第3ステージへ CABG：第2ステージ継続中(米国) フェーズ b開始(欧州)	フェーズ	2007年度
E7070 (注射)	細胞周期G1期阻害 大腸がん・非小細胞肺がん・乳がん： 単剤および併用試験継続中	フェーズ	2006年度
E2007 (経口)	AMPA受容体拮抗剤 パーキンソン病・多発性硬化症・てんかん： フェーズ a完了	フェーズ	2006年度
E7389 (注射)	チューブリン重合阻害剤 フェーズ 継続中(NCI、エーザイ)	フェーズ	2006年度

# 国内開発品の進捗

テーマ名	概要	ステージ	申請予定
E3810 (経口) パリエット	H.ピロリ除菌療法(抗生剤と併用) 【効能追加】	フェーズ	2004年度
E0735 (注射) タンボコール	発作性心房細動・粗動 【効能追加】	フェーズ	2004年度
E2020 (経口) アリセプト	高度アルツハイマー型痴呆 【効能追加】	フェーズ	2005年度
KES524 (経口)	肥満症 セロトニン・ノルアドレナリン再取り込み阻害	フェーズ (完了)	2007年度
D2E7 (注射)	関節リウマチ ヒト抗TNF- $\alpha$ モノクローナル抗体注射剤	フェーズ	2005年度
E2014 (注射)	痙性斜頸 B型ボツリヌス毒素	フェーズ	2005年度
E7210 (注射)	超音波造影剤 SF6(六フッ化硫黄)を用いた超音波造影剤	フェーズ	2005年度
E0167 (経口)	ビタミンK2による肝細胞がん再発抑制	フェーズ	2008年度

# 通期業績見通し

(億円、%)

	2002年度 実績	2003年度 見通し	前年比
売上高	4,666	5,080	109
営業利益	759	830	109
経常利益	761	825	108
当期利益	410	500	122

EPS (円)	141.2	171.1	121
ROE (%)	10.9	12.2	
配当 (円)	32.0	36.0	